2020年11月18日

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

あすか製薬株式会社

証券コード：４５１４

重要な注意事項

- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います。
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2020年度上期
連結決算概要

あすか製薬株式会社
代表取締役専務取締役　丸尾　篤嗣

損益計算書（連結）

単位：百万円	2019年度 上期	2020年度 上期	増減額	増減率
売上高	26,582	27,403	820	3.1%
売上原価	14,492	14,563	70	0.5%
売上総利益	12,089	12,840	750	6.2%
販売費及び一般管理費	11,343	10,894	△449	△4.0%
営業利益	746	1,946	1,199	160.7%
経常利益	869	1,952	1,082	124.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	577	1,552	975	168.9%

事業別売上高（連結）

単位：百万円	2019年度上期	2020年度上期	構成比	増減額	増減率
医療用医薬品	24,177	25,128	91.7%	951	3.9%
動物用医薬品	2,319	2,232	8.1%	△86	△3.7%
その他	86	42	0.2%	△44	△51.0%
合計	26,582	27,403	100.0%	820	3.1%

主要製品売上高

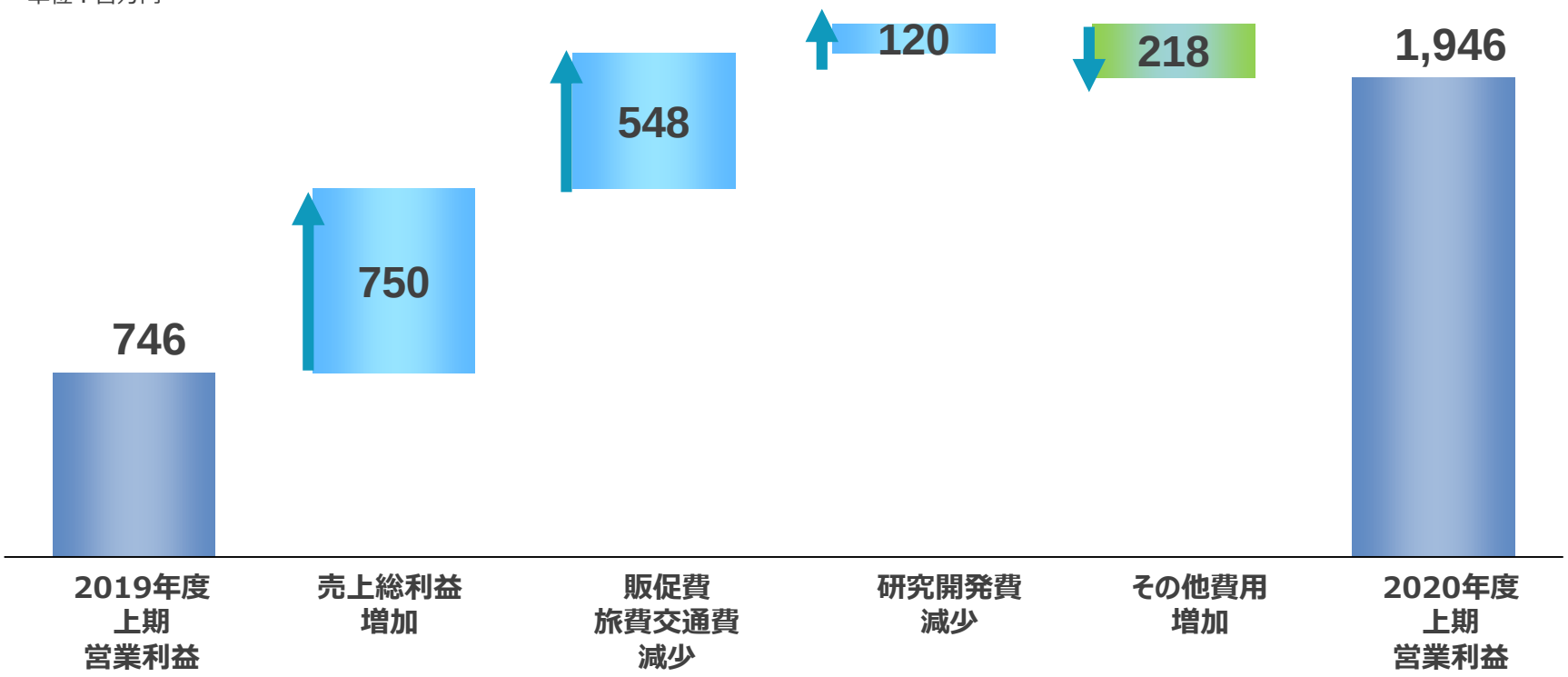
単位：百万円

領域	製品		2019年度 上期	2020年度 上期		2020年度	
			実績	実績	前同比（%）	計画	前同比（%）
内科	※1、※2	カンデサルタン類	6,878	6,117	88.9%	11,486	86.9%
		チラーヂン	3,433	3,579	104.3%	7,169	104.0%
		リフキシマ	1,845	2,176	117.9%	4,829	127.7%
		メルカゾール	700	698	99.7%	1,383	100.2%
	※1	アムロジピン	790	632	80.0%	1,184	82.4%
		リピディル	777	590	75.9%	1,187	94.5%
産婦人科		レルミナ（2019.3～）	865	2,519	291.1%	5,921	226.4%
	※1	フリウェル	1,012	1,355	133.9%	2,469	109.8%
	※4	マグセント(2020.2～)	－	466	－	878	1583.7%
		アンジュ	538	453	84.1%	958	94.9%
		ルテウム	246	238	96.9%	519	101.0%
泌尿器科	※1、※3	リュープロレリン	2,472	2,274	92.0%	3,639	75.9%
	※1	ビカルタミド	692	515	74.5%	1,060	84.3%

※1 ジェネリック医薬品
※2 配合剤を含む
※3 1.88mg製剤は産婦人科適応のみだが、3.75mgと合算
※4 硫酸マグネシウム製剤の合算値

営業利益増減分析（対前同）

単位：百万円



要因分析

- 投与制限解除後の「レルミナ」の伸長や「リフキシマ」等の主力品が堅調に増加したこと、杏林製薬との共同契約に係る契約一時金の計上等による売上総利益の増加
- 新型コロナウイルス感染拡大による営業活動自粛による経費等の減少

貸借対照表（連結）

2019年度末

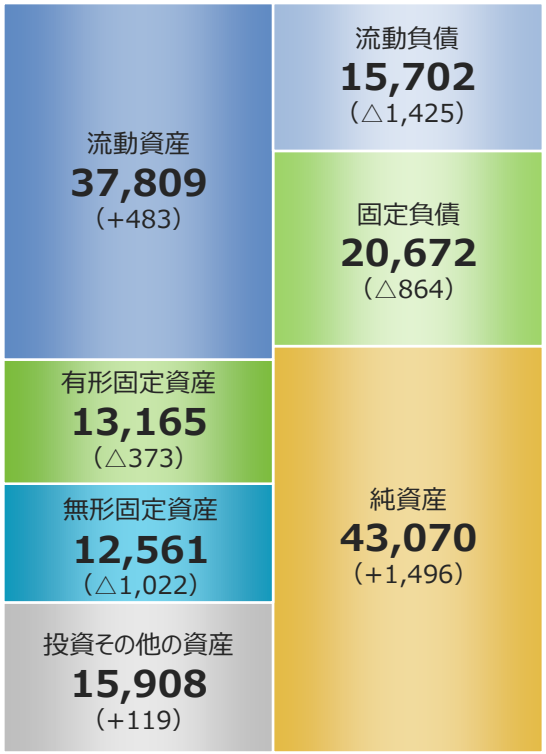
単位：百万円



総資産　80,239百万円

2020年度 上期末

単位：百万円



総資産　79,445百万円
(△793)

■ 資産の部

現金及び預金　1,057
受取手形及び売掛金　△652
有形固定資産　△373
無形固定資産　△1,022

■ 負債・純資産の部

支払手形及び買掛金　△34
借入金　△1,449
利益剰余金　1,267

2020年度予想（連結）

単位：百万円

	2019年度 実績	2020年度 予想	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	52,542	53,000	458	0.9%
営業利益	1,507	2,000	493	32.7%
経常利益	1,715	1,900	185	10.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	649	1,500	851	131.1%

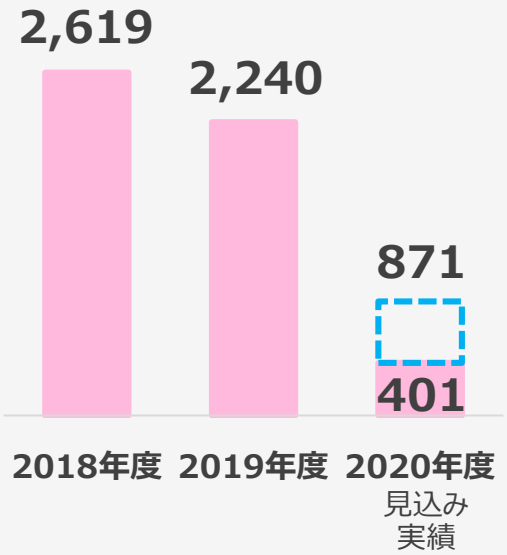
要因

- 売上高は、「レルミナ」の伸長や「リフキシマ」「マグセント」等の寄与に加えて、契約一時金の計上等により、増収となる見込み。
- 利益面は、売上高の増加により営業利益、経常利益、当期純利益ともに増益となる見込み。

ご参考：設備投資費・減価償却費・研究開発費

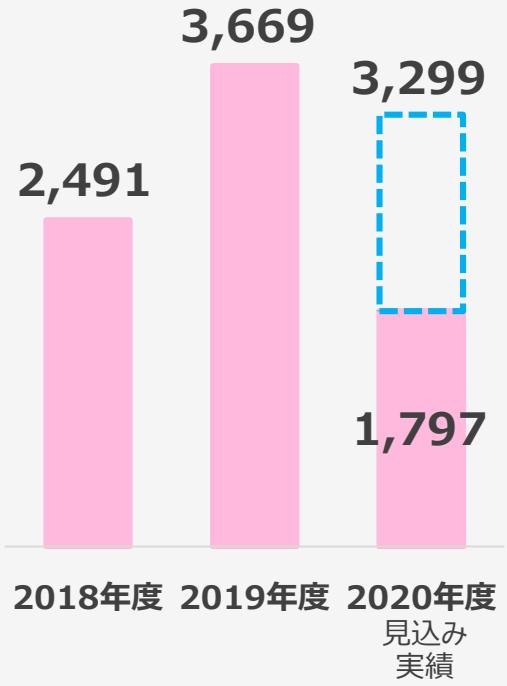
設備投資費

（百万円）



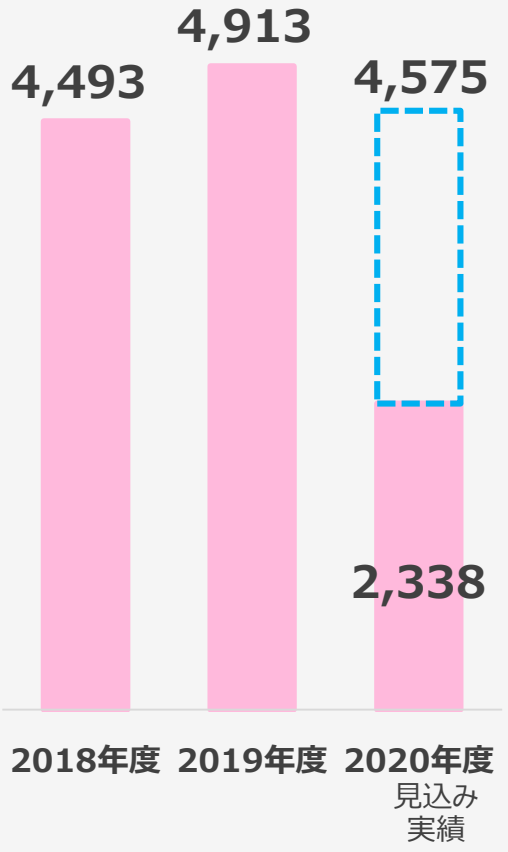
減価償却費

（百万円）



研究開発費

（百万円）



2020年度上期総括
年度中間報告

あすか製薬株式会社
代表取締役社長　山口 隆

創立100周年

日本経済新聞に広告掲載
(2020.6.16)



100th ANNIVERSARY

すべての絆とともに歩む

あすか製薬は、2020年6月16日に創立100周年を迎えました。
1920年の創立以来、一貫して「創薬」にこだわり、
患者さんにとって価値ある医薬品の創製・提供を続けてきました。
これまでの100年を、これからの未来につなげていく。
「先端の創薬を通じて、人々の健康と明日の医療に貢献する」という経営理念のもと、
あすか製薬はこれからも、人々の「生命（いのち）」に関わる企業として、
すべての絆とともに歩んでまいります。

本日の内容

- 2020年度上期総括
- 2020年度主要テーマの取り組み
  - 女性ヘルスケアへの貢献
  - 内科領域
  - 研究開発
  - グローバル展開

2020年度上期総括

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

当社では新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、
在宅勤務・時差出勤の推進、営業活動や出張の自粛、Web環境整備、電子署名推進等の
対策を講じてまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、業績への影響は軽微であり、
製品供給についても安定して供給できる体制を維持しております。

販売	・販売において影響は軽微であり新薬の浸透により前年同四半期比3.1%増 ・医療関係者に対して感染予防に配慮してWeb面談やWeb講演会を併用し活動を継続
研究開発	・研究開発活動において現時点で大きな影響は出ていない ・一部の臨床試験において患者の来院自粛などによる症例登録遅延が発生
生産	・厳格な対応により生産においては安定供給体制を維持 ・今後もリスクに対応して安定供給を図る

2020年上期の取り組みと成果

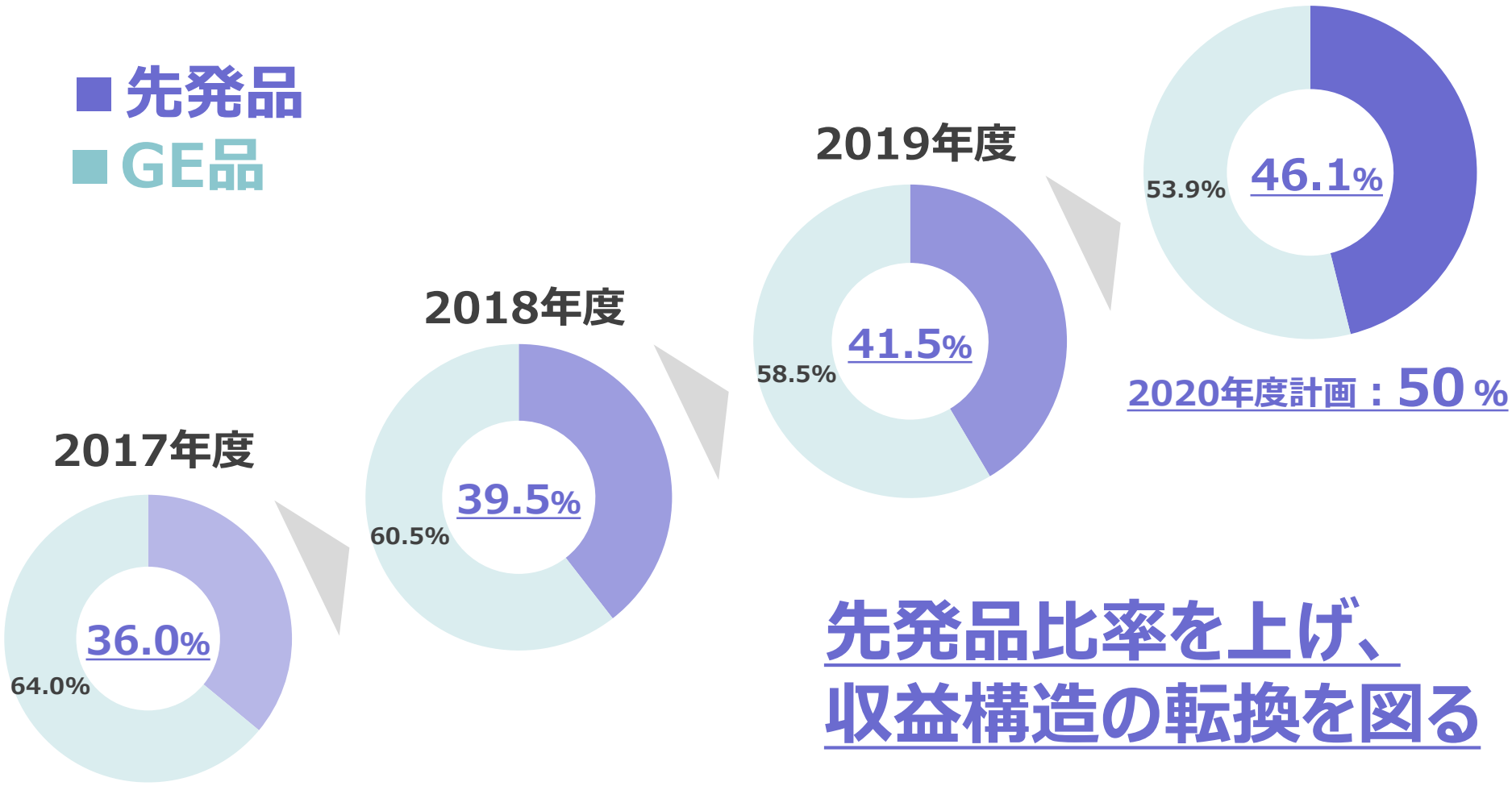
- 『レルミナ錠』、『リフキシマ』等 新製品の伸張
- 杏林製薬との『AKP-009』の共同開発及び販売等に関する契約締結
- Hataphar(ハタファー)社との株式譲渡契約締結
- 鳥居薬品との『リオナ錠』コ・プロモーション契約締結

※効能効果申請中の鉄欠乏性貧血に対する産婦人科領域でのプロモーション

新薬を中心とした事業への転換

先発品とGE品 売上高の割合

■ 先発品
■ GE品



2020年度計画：50％

先発品比率を上げ、収益構造の転換を図る

アライアンス活動のアップデート

INSUD PHARMA

ドロスピレノンに関するライセンス契約締結

↓

国内第1/2相試験準備中

KinoPharma

子宮頸部異形成治療薬に関するオプション契約

↓

キノファーマが韓国第1相試験実施中

Renascience

婦人科領域における共同開発及びオプション契約

↓

医師主導第2相試験実施中

※ AMEDによるCiCLE事業に採択

RaQualia
innovators for life

創薬研究に関する共同研究契約

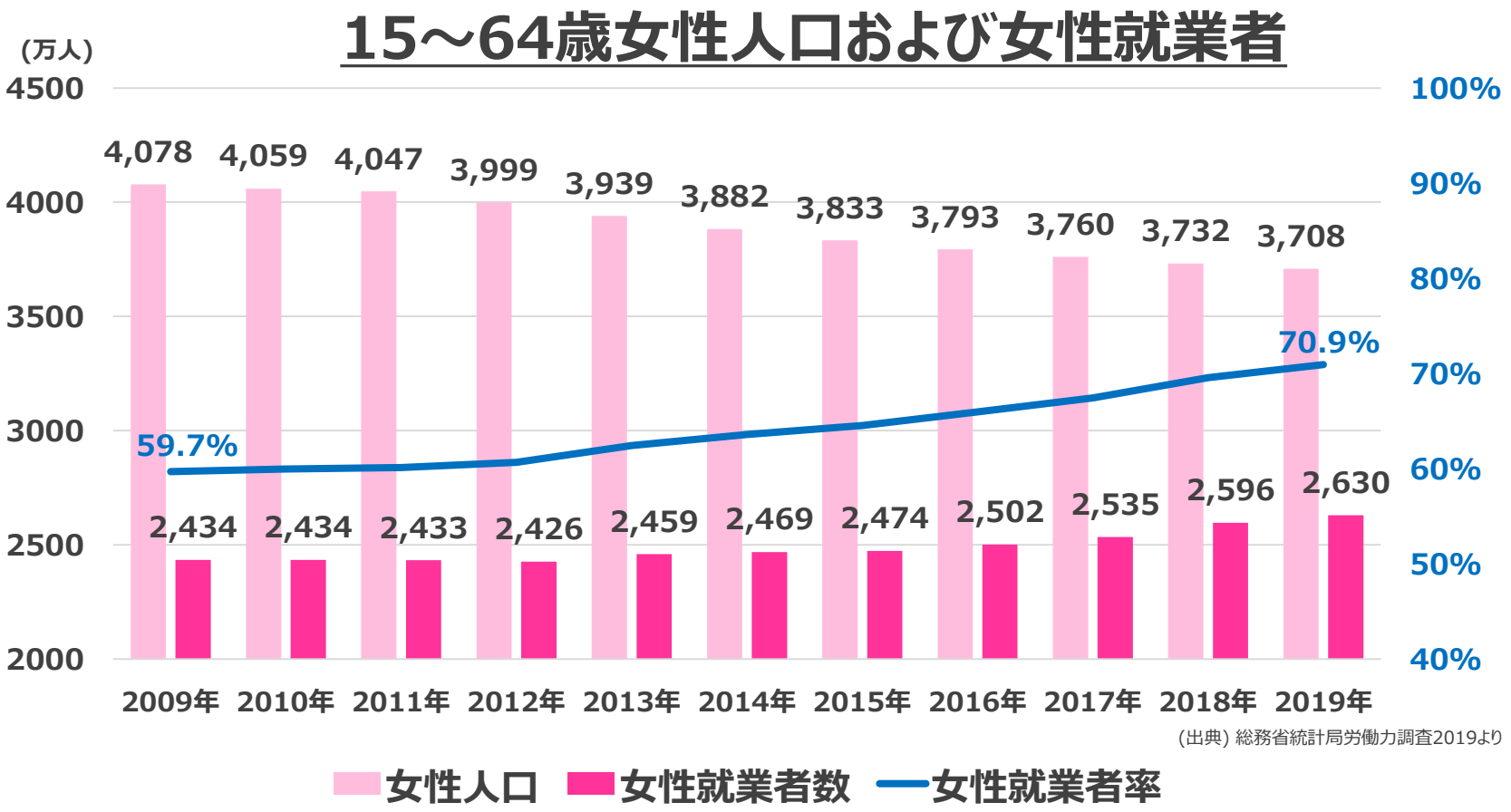
↓

イオンチャンネルを標的とした新たなスクリーニング系を構築中

2020年度主要テーマの取り組み

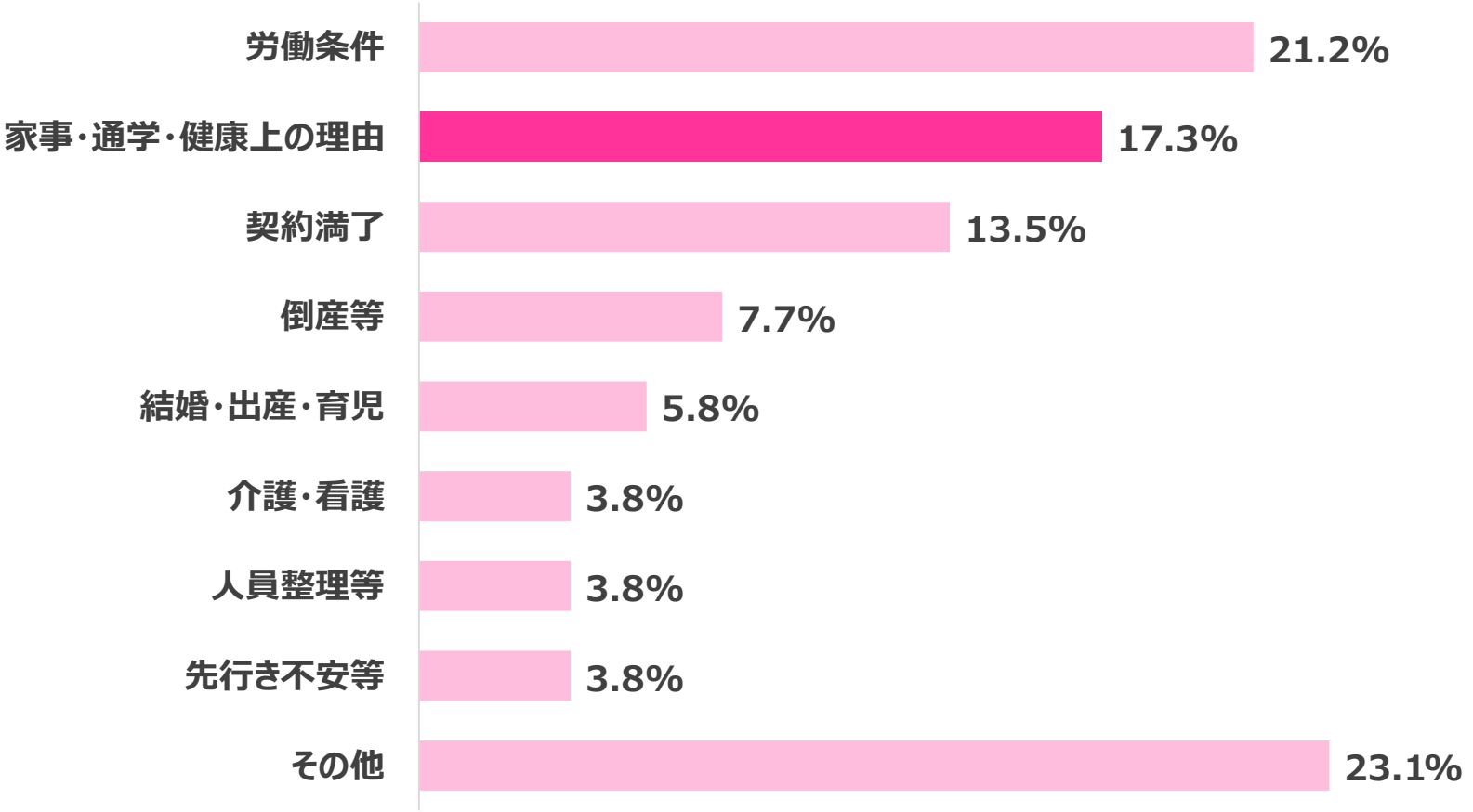
女性ヘルスケアへの貢献

女性の就業者数推移 ※前回掲示資料



女性の就業者数は10年間で約196万人増加している

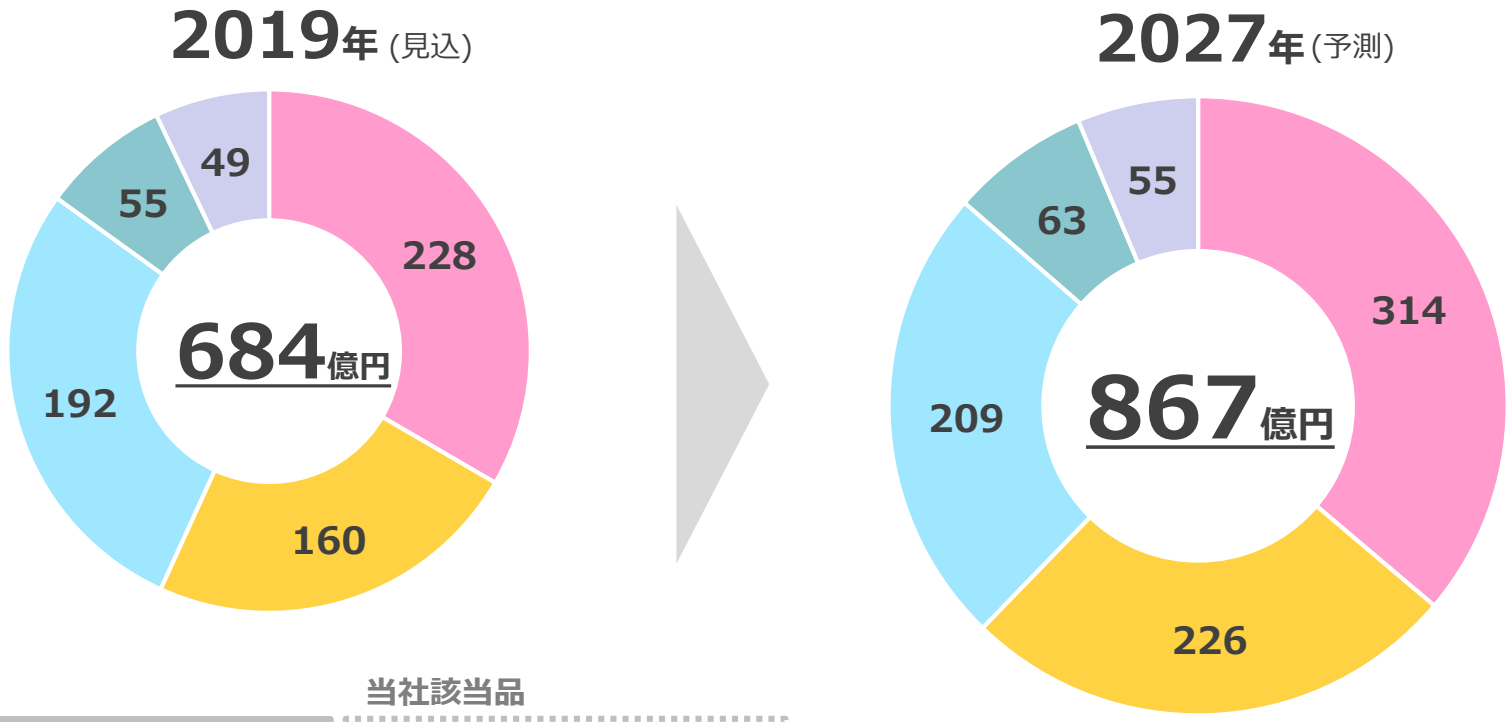
女性の離職理由 (2019年) ※前回掲示資料



(出典) 総務省統計局労働力調査2019より

一方、健康上の理由等で離職せざるを得ない女性も多い

産婦人科市場の予測



	当社該当品
更年期障害・月経障害治療剤	ジェミーナ(コ・プロ)・フリウェルAG
子宮筋腫・子宮内膜症治療剤	レルミナ・ウリプリスタル(開発中)
不妊治療剤	AKP-501(開発中)・ルテウム
経口避妊薬(緊急避妊薬含む)	LF111(開発中)・ノルレボ
切迫早産治療剤・陣痛促進剤	マグセント・マグネゾール

産婦人科領域における医療ニーズは拡大予測

出典：株式会社富士経済2018-2019 医療用医薬品データブックNo.4 無断転載禁止

産婦人科製品　ライフステージ別

幼少期 | 思春期 | 生殖年齢期 | 更年期 | 老年期

経口避妊
- LF111
- アンジュ
- ノルレボ

更年期障害
- ホーリン

月経異常
- プラノバール

月経困難症 子宮内膜症 子宮筋腫
- ジエミーナ(コ･プロ)
- レルミナ
- フリウェル
- ウリプリスタル
- ピリドキサミン
- リュープロレリン
- ジエノゲスト

不妊症
- AKP-501
- HMG筋注用
- uFSH注用
- ゴナトロピン
- ルテウム
- セキソビット

流･早産 出産
- マグセント
- マグネゾール
- リトドリン
- アトニン-O

STD/感染症
- 子宮頸部異形成治療薬
- ラピッドエスピー(コ･プロ)

開発中
新製品
導入品
オプション契約

幅広いラインナップで
女性のヘルスケアに貢献

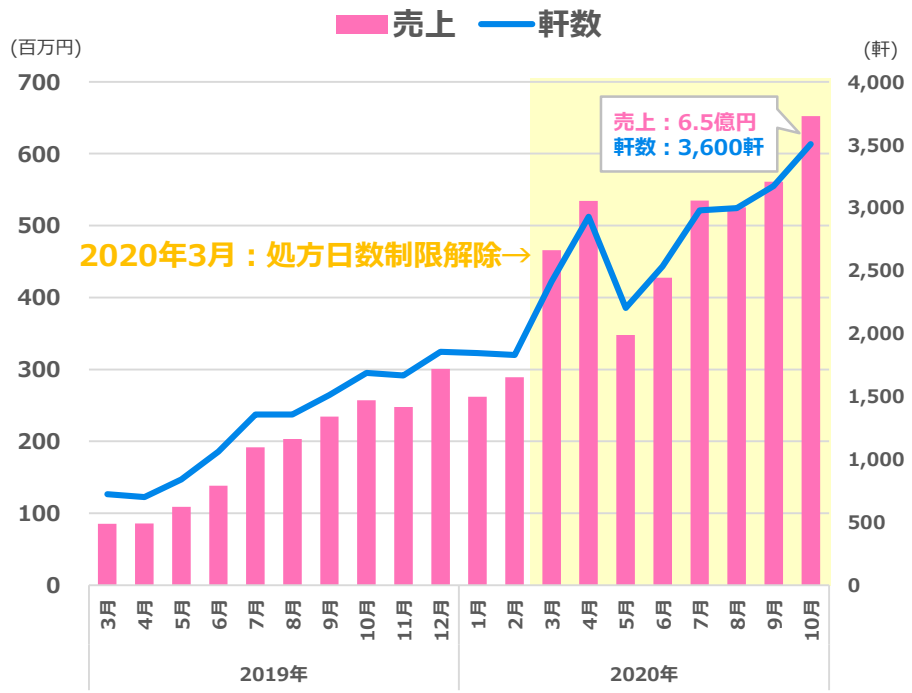




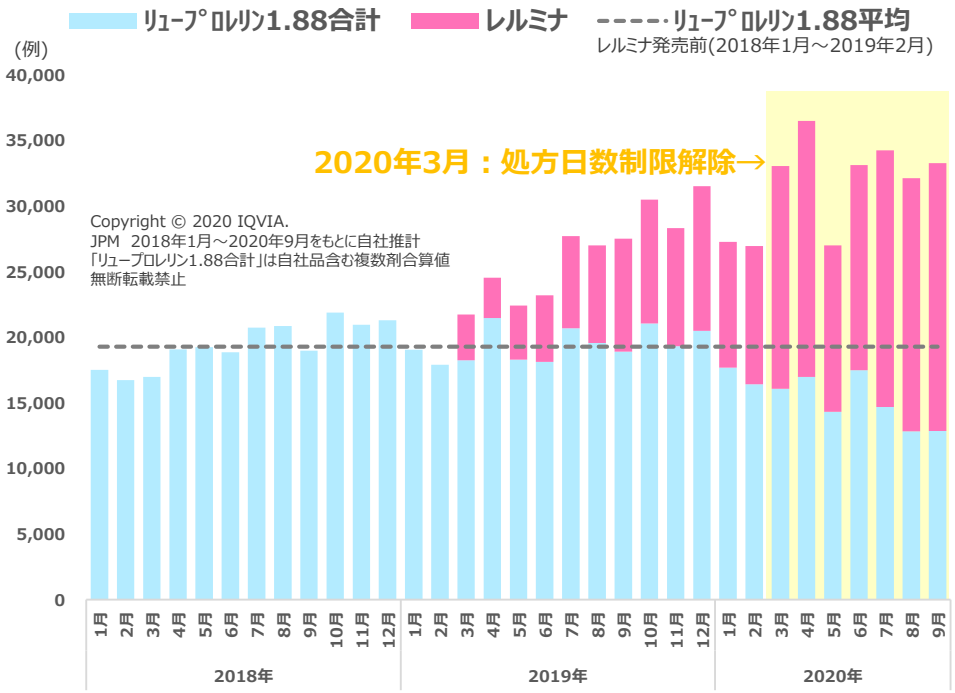
レルミナ®錠

RELUMINA

レルミナの実績 ※薬価ベース



子宮筋腫治療薬　推定症例数 ※数量からの推計



処方日数制限解除以降
売上、軒数ともに拡大

3月以降、リュープロレリンからの
切り替わりも加速している

レルミナ®錠 RELUMINA

レルミナが選ばれている理由(抜粋)

・経口剤が他の剤型より好まれている
・子宮筋腫に伴う症状を早く緩和できる
・フレアアップ(flare up)現象※を回避できる
・手術前に適している
・筋腫増大例
・出血コントロール不良例

➡ **約2万人が服用**
（2020年9月時点）

※投与初期に一過性に女性ホルモン分泌が亢進するのに伴い、
不正性器出血や下腹部痛等の症状が発生すること

子宮筋腫市場

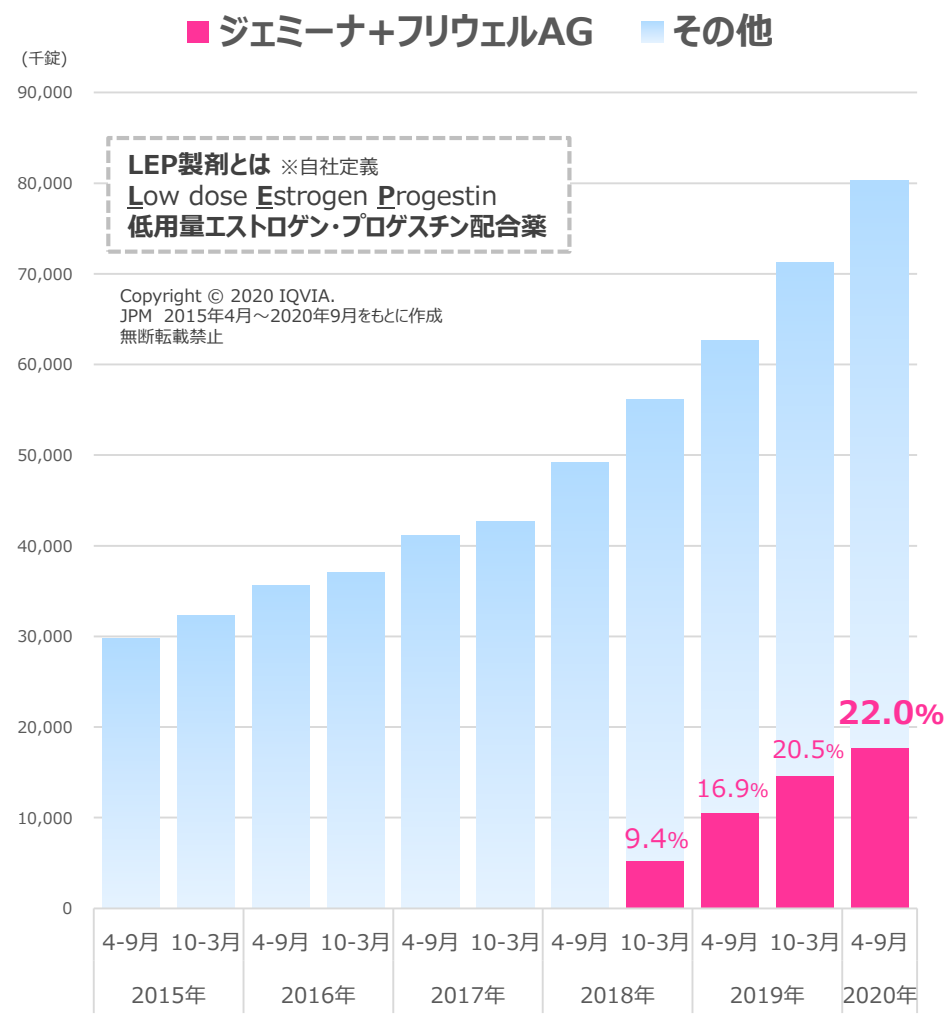


出典：日本医療データセンター

今後さらにGnRHおよび他のホルモン剤から切り替わる見込み

LEP製剤（ジェミーナ®配合錠 フリウェル®配合錠 ）

拡大を続けるLEP製剤市場



月経困難症の適応を持つ LEP製剤の普及が加速している

2018年10月　ノーベルファーマより発売

『ジェミーナ®配合錠』

コ・プロモーション



2018年12月発売

『フリウェル®配合錠LD・ULD「あすか」』

オーソライズド・ジェネリック



新薬とAGの情報提供を通じて 月経困難症治療に貢献する

内科領域

リフキシマ®錠200mg

肝硬変診療ガイドラインの改訂

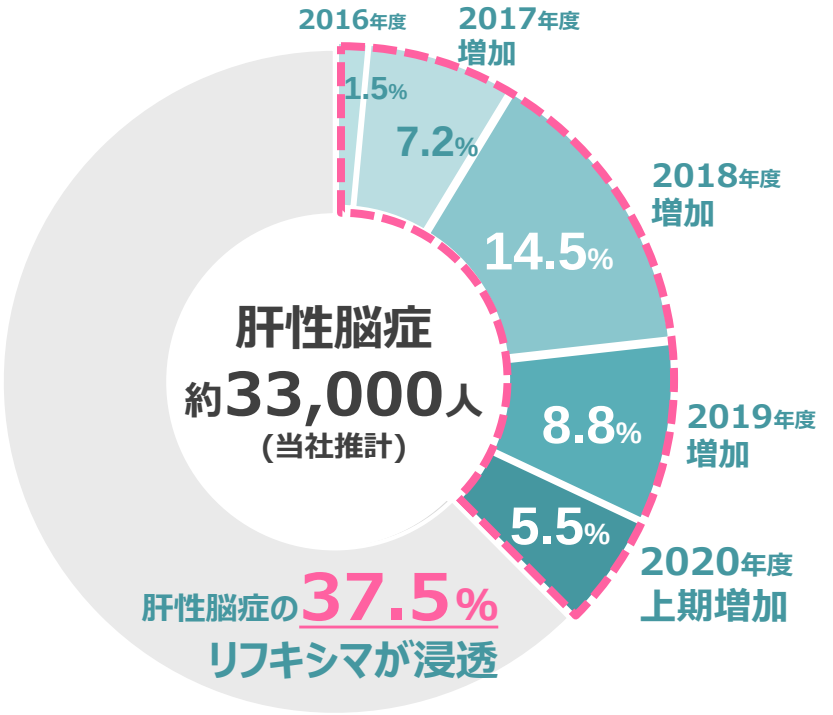
2020年11月発刊　※リフキシマ発売後初となる改訂

(該当部分要約)

リフキシマは肝性脳症治療薬として有効であるため、
合成二糖類による治療と同様に、
基本的な治療薬として投与することが推奨されました。

推奨の強さ：強 ※最上位

エビデンスレベル：A ※最上位



消化器・肝臓専門医を中心に情報伝達を早期に完了させる

肝性脳症治療の第一選択薬として更なる貢献を目指す

甲状腺領域の取り組み

2020年6月29日 発売

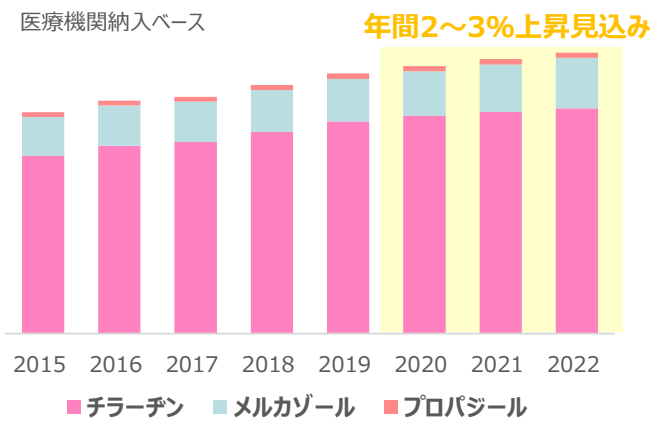
『チラーヂン®S静注液 200μg』

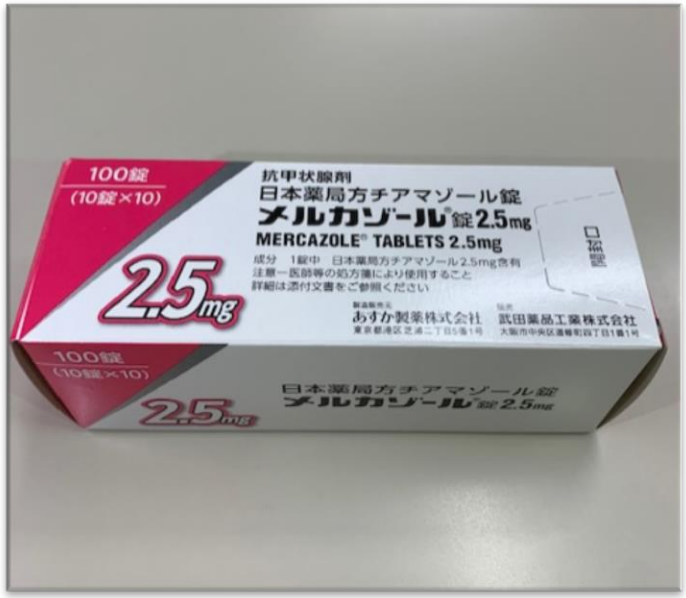
【効能効果】
・粘液水腫性昏睡
・甲状腺機能低下症 (レボチロキシンナトリウム経口製剤による治療が適さない場合)

「医療上必要性の高い未承認薬・適応外薬」として
日本甲状腺学会等から厚生労働省に要望があり
厚生労働省から開発要請を受けあすか製薬が開発

3 すべての人に健康と福祉を

甲状腺製剤の販売トレンド





2020年8月17日 製造販売承認取得

『メルカゾール®錠2.5mg』

※2021年2月発売予定

【効能効果】
・甲状腺機能亢進症

医療機関からの高いニーズに応える半量製剤

研究開発

開発パイプライン

研究開発の状況 （2020年11月時点）

前回からの変更点

開発番号(一般名)／領域･効能	Ph Ⅰ	Ph Ⅱ	Ph Ⅲ	申請	承認
CDB-2914（ウリプリスタル） 子宮筋腫					申請済み
TAK-385（レルゴリクス）レルミナ® 子宮内膜症				Ph Ⅲ 終了	
AKP-501（フォリトロピンガンマ） 不妊症		Ph Ⅰ 終了			
LF111（ドロスピレノン） 避妊		PhⅠ/Ⅱ 開始			
L-105（リファキシミン）リフキシマ 肝性脳症（小児）			Ph Ⅱ / Ⅲ 実施中		
L-105（リファキシミン）リフキシマ クローン病		Ph Ⅰ 終了			
AKP-009 前立腺肥大症		Ph Ⅱ 実施中			

自社創製品AKP-009（新規アンドロゲン受容体モジュレーター）



国内における共同開発及び販売等に関する契約を締結

※2020年9月30日プレスリリース

AKP-009【自社創製 新規前立腺肥大症治療薬】

予定適応症：前立腺肥大症に伴う排尿障害
国内開発：前期第 II 相試験（2019年12月~2020年11月予定）

～開発品の特長～

『前立腺萎縮効果が高い』、『排尿機能改善効果が高い』ことを期待

杏林製薬との契約締結は、泌尿器科領域の治療薬である本剤の効果的かつ効率的な開発につながるものと期待

開発パイプラインの進展

武田薬品工業からの導入

レルミナ

Ph Ⅲ終了

適応：子宮内膜症に基づく疼痛の改善(予定)

市場：患者数 約260万人 (有経女性の10%)

・経口投与可能であり、速やかに性ホルモン（エストロゲン及びプロゲステロン）レベルを低下させることにより症状を改善し、患者のQOL向上が期待される

Insud Pharma(スペイン)とのライセンス契約

LF111

(ドロスピレノン)

Ph Ⅰ/Ⅱ開始

適応：避妊（予定）

市場：経口避妊薬 年間約470万シート

- 国内初となる黄体ホルモン単剤の経口避妊薬を開発中
- エストロゲンを含有しないため、血栓塞栓症リスクのある女性にも使用可能
- 日本および韓国におけるサブライセンス権付き独占的開発販売権を獲得

▶自社創薬と導入活動の推進により、開発パイプラインの拡充をはかる

グローバル展開

グローバル展開

Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyと株式譲渡契約を締結
（ハタファー社）

戦略パートナーとしてベトナム製薬業界売上高第２位のハタファー社と株式 24.9%の譲渡契約完了

あすか製薬の開発力・製造技術力とハタファー社の販売力のシナジーにより両社の事業が大きく進展



サイニングセレモニーの様子（2020年８月18日）

【ハタファー社の概要】

創業年：1965年

本社所在地：ベトナム国ハノイ

売上高：98億円(2019年度)

純利益：4.3億円(2019年度)

純資産：15億円(2019年度)

総資産：35.4億円(2019年度)

※1VND＝0.0048JPY

新中期経営計画 (2021～2025年度)

- **2020年度内の発表に向け策定中**

【参考】
非財務情報(ESG)のトピックス

SDGsへの取り組み

× SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

あすか製薬は創立以来、チラーヂンを中心とした
世の中になくてはならない医薬品の製造や、
幅広い産婦人科製品の提供を通じた、
女性のヘルスケアへの貢献に取り組んできた。

今後も製薬会社として果たすべき役割を考え、
SDGsに貢献する取り組みを行っていく。



創立
1920年

現在
2020年

SDGs
2030年

あすか製薬が貢献していく項目

3.すべての人に健康と福祉を
5.ジェンダー平等を実現しよう
7.エネルギーをみんなに そしてクリーンに
12.つくる責任 つかう責任
13.気候変動に具体的な対策を
17.パートナーシップで目標を達成しよう

社会貢献事業



女性のための健康ラボ Mint+

これまで当社が長年にわたり蓄積してきた「女性ホルモン」に関する知見を結集し、女性特有のつらい症状で悩む方に寄り添い、サポートしたいとの思いから、創立100周年を機に新組織**「女性のための健康ラボMint+（ミント）」**を設立しました。

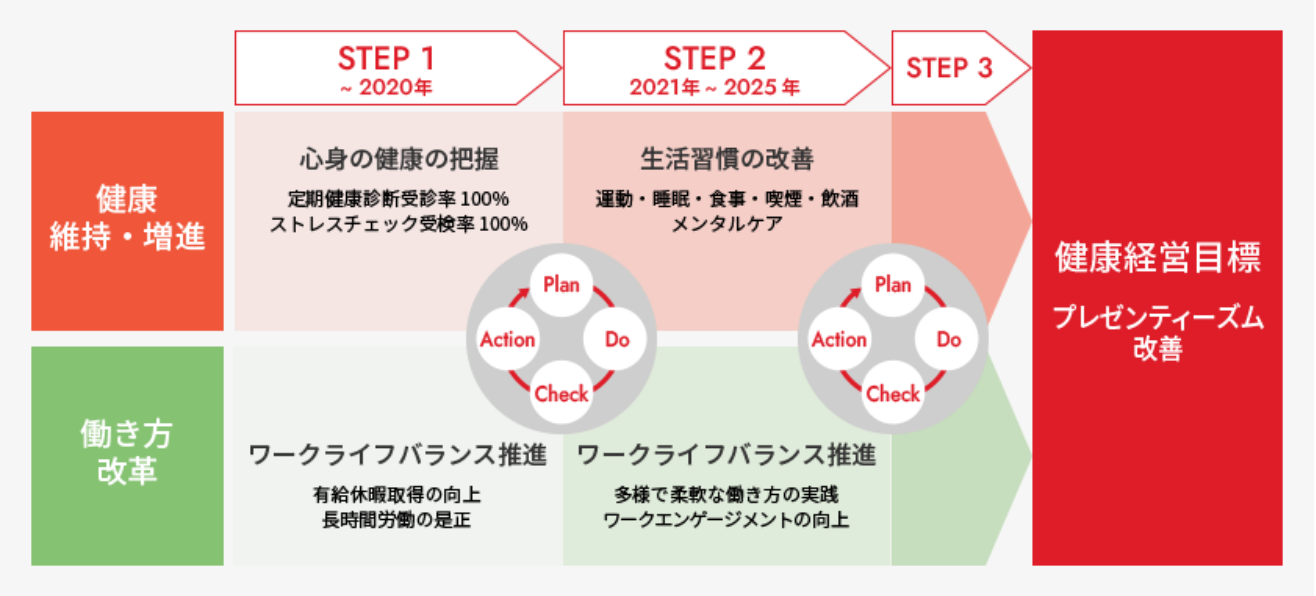
あすか　ミント　検索

健康経営への取り組み

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する

『健康経営優良法人ホワイト500』に2年連続で認定されました。

2020
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500



当社HP：あすか製薬が取り組む健康経営

https://www.aska-pharma.co.jp/csr/sustainability/health.html#anc2

「女性からだ会議®大賞2020」優秀賞受賞

「女性からだ会議®大賞」とは

一般社団法人シンクパール主催の
女性の健康や予防対策、がん対策に取り組む活動や企業・団体を紹介・表彰する企画



【女性からだ会議®大賞2020】
株式会社ポーラ

【女性からだ会議® 特別賞2020】
楽天メディカルジャパン株式会社

【女性からだ会議® 優秀賞2020】
あすか製薬株式会社
エイベックス・マネジメント株式会社
サントリーホールディングス株式会社
全日本空輸株式会社
日本航空株式会社
野村證券株式会社
富士通株式会社
ヤフー株式会社　（五十音順）

第3期湘南会議への参画

『周産期うつ病』の社会課題解決を目指す『第３期湘南会議』に参画

湘南会議は、湘南アイパークのファシリテーションのもと神奈川県(未病産業研究会)、藤沢市、鎌倉市の支援を受け「未病のビジネス化を目指した民間企業が共創するコンソーシアム」として設立

開催時期	2020年10月　～　2021年2月
主催	湘南アイパーク
スポンサー	ヤンセンファーマ株式会社
支援	神奈川県(未病産業研究会)、鎌倉市、藤沢市
参画企業 (８社)	あすか製薬 アフラック生命保険株式会社 株式会社エムティーアイ グンゼ株式会社 株式会社ジーンクエスト 田辺三菱製薬株式会社 日本アイ・ビー・エム株式会社 株式会社 Hyper Cube

【周産期うつ病について】

・「周産期うつ病」は世界共有にみられ、10～15%の母親が罹患
・日本では周産期の母親の死因第1位が周産期うつによる自殺



『女性のための働き方改革！「生理快適プロジェクト」』への協賛



女性のための働き方改革！
生理快適
プロジェクト

日経BP総合研究所主催の
女性が働きやすい社会の実現を
応援する複数企業によるプロジェクト

Web記事連載
オンライン・メディアセミナー
働く女性向けWebセミナー　等

↓生理快適プロジェクトが取り組むSDGs重点目標↓



女性のための働き方改革！「生理快適プロジェクト」HP：https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/DRS/20/seirikaiteki/
Web記事『自分のカラダは自分で守る！働く女性の「快適生理」マネジメント術』：https://doors.nikkei.com/atcl/column/19/092400212/
※掲載期間2020年10月～2021年12月予定

先端の創薬を通じて、
人々の健康と明日の医療に貢献する

あすか製薬株式会社

ASKA Pharmaceutical Co., Ltd.

お問い合わせ先

経営企画部

Tel　：03－5484－8366

e-mail：kouhou@aska-pharma.co.jp

